

子宮頸がん・乳がん検診 無料クーポン券の利用について

6 月に対象者へ検診費用が無料となる「婦人がん検診無料クーポン券」を送付しています。まだ、受診されていない方は、この機会に、受診しましょう。

■対象者：南風原町在住で、平成 28 年 4 月 1 日時点で下表の年齢の女性

《子宮頸がん検診 対象者》

年齢	生年月日
20 歳	平成 7 年 4 月 2 日～平成 8 年 4 月 1 日
25 歳	平成 2 年 4 月 2 日～平成 3 年 4 月 1 日
30 歳	昭和 60 年 4 月 2 日～昭和 61 年 4 月 1 日
35 歳	昭和 55 年 4 月 2 日～昭和 56 年 4 月 1 日
40 歳	昭和 50 年 4 月 2 日～昭和 51 年 4 月 1 日

《乳がん検診 対象者》

年齢	生年月日
40 歳	昭和 50 年 4 月 2 日～昭和 51 年 4 月 1 日
45 歳	昭和 45 年 4 月 2 日～昭和 46 年 4 月 1 日
50 歳	昭和 40 年 4 月 2 日～昭和 41 年 4 月 1 日
55 歳	昭和 35 年 4 月 2 日～昭和 36 年 4 月 1 日
60 歳	昭和 30 年 4 月 2 日～昭和 31 年 4 月 1 日

■検診場所：指定の医療機関をクーポン券に記載していますので、ご確認ください。（一部抜粋）
■有効期限：平成 29 年 3 月 31 日まで

【お問い合わせ】 国保年金課 ☎889-1798

～11月 は 児童虐待防止推進月間です～

あの子、虐待を受けているのかしら・・・。

子育てが辛くて、つい子どもにあたってしまう・・・。

友だちが子育てに悩んでいる・・・。

■虐待の種類

※身体的虐待・・・殴る、ける、たばこの火を押し付けるといった、子どもへの身体暴行を加える行為。
※ネグレクト・・・食事を与えない、不潔なまま放置する、長時間の放置など、子どもへの必要な養育を怠る行為。
※心理的虐待・・・無視、言葉の暴力、兄弟姉妹間での差別的な扱いなど、子どもの心に傷をつける行為。
※性的虐待・・・性的ないたづらをする、性的関係を強要するなど、子どもにわいせつな行為をすること・させる行為。

こども課では児童相談員を配置しています。「虐待かな？」と思ったら、まずはご相談ください。「近所の力」に勝るものはありません。気づいたあなただけが頼りです。

【お問い合わせ・ご相談】 南風原町役場 こども課 ☎889-7028
沖縄県中央児童相談所 ☎886-2900
沖縄県南部福祉事務所(地域福祉班) ☎889-6364

交通事故などで国保の保険証を使う場合は届出が必要です！

交通事故などにあったときは、すぐに最寄りの警察に届出をするとともに、国保の保険証を使って治療を受けるときは、役場の国保窓口へ届出（傷病届）が必要です。

業務外で交通事故にあったり、ケンカや他人の犬にかまれたなど、他者にケガをさせられたときに、被害者がそのケガについて保険証を使って治療を受けた場合は、もともと加害者が支払うべき医療費を国保が負担したことになります。 その場合、後日国保が被害者の代わりに、加害者や加害者側の損害保険会社などに、かかった医療費を請求します。 そのために必要なのが傷病届です。（国民健康保険法施行規則第32条の6の規定により届出が義務づけられています。）

※相手がいない自損事故でケガをして保険証を使った場合も届出が必要です。
※仕事中や通勤中の事故について労災が適用される場合は、国保が使えません。勤務先で労災の手続きをしてください。

【お問い合わせ】 国保年金課 ☎889-1798

特集

87 歳の名工 神山寛盛さん



糸のこでの切り出し作業の様子

蓋の部分に様々な絵が描かれているデザインマンホール、実は沖縄が発祥の地ということをご存じでしょうか。
昭和52年、西原町の沖縄鑄鉄工業株式会社で、魚をデザインした那覇市のマンホールが生み出されました。これが、全国初の市町村デザインマンホールだといわれています。
もともとアイロン、やかなな

「一番難しいのは直線。この時、マンホール型の製作を行ったのが、字兼城に住む神山寛盛さんです。デザインマンホールの話を受けた神山さんは、『難しいんじゃないか。できるだろうか。』『足元のデザインなど誰が見るのだろうか。』と思った」と当時を振り返ります。
しかし、神山さんの予想に反し、生み出されたマンホールは話題となり、全国各地へと広まりました。
その後、神山さんは平成15年に厚生労働省から「現代の名工」に選ばれ、満87歳を迎えた現在も西原町まで通い、マンホールを製作しています。眞志喜社長からも「他の人より早いし、やつぱり上手い。」と信頼をおかれています。

戦後、仕事のないときに鍋作りに興味を持ち、鑄物の仕事を始めた神山さんは、自身の子どもが生まれたときに、「一生この仕事を続けよう」と心に決めたと言います。今も仕事を続ける理由を尋ねると「おもしろいからでしょうね」と微笑みました。
混雑時の移動を避けるため4時には退勤させる



プロフィール
かみやまかんせい
神山寛盛さん
昭和4年10月生まれ
鑄物や鍋釜類の鑄造を手掛け、木型工として模型の製作も多数に渡る。全国初のデザインマンホール蓋を製作。
平成15年に「現代の名工」に選ばれ、現在も沖縄鑄鉄工業㈱で製作を続けている。

という職場の優しきにも後押しされながら、仕事を楽しむ神山さんの心こそが、トーカーチを迎えてなお最前線で活躍されている秘訣なのでしょう。
最近では、マンホールカードが配布されるほど全国的にも人気のデザインマンホール。皆さんもたまには、足元のマンホールのじっくり見てデザインを楽しんではいかがでしょう。



全国初のデザインマンホール（那覇市）



南風原町のデザインマンホール



切り出しの際は、型が抜けるよう切り口に勾配をつけている。